広報かじき

No.289
昭和54年3月号

発行／加治木町
編集／総務課
印刷／㈲吉屋印刷

鹿児島神宮の名物行事、初午祭は、2月11日17頭が出場。15万人の見物客でにぎわいました。

鈴かけ馬は、色彩豊かな腹帯に、豆太鼓や鈴をいっぱいつけ馬頭観音寺から神宮まで、ことしも本町木田の鈴かけ馬が先頭に踊り奉納しました。

◆人　口　22,047(76)　男10,517(48)　女11,530(28)　世帯数 7,122(19)　54.2.1現在(　)前月比

住みよい加治木町に

町社会教育大会

健康で創造的なたくましい
人づくりを……とシンポジューム

町民全員が健康で創造的な人づくりや、たくましい青少年の育成を図るために、町民が相互に連帯感を深めて行く目的の昭和五十三年度町社会教育大会が、二月二十三日町福祉センターで町内各種団体、グループの皆さん約三百人が参加して行われました。

この日は、竜門西元地区公民館長（犬童猪之二さん）弥勒自治公民館長（池田輝夫さん）町連合婦人会長（西迫雅子さん）らの活動事例発表のあと、シンポジュームが「住みよい加治木町をつくるための社会教育活動は、どうあればよいか」のテーマで行われた。登壇者は婦人代表西迫雅子さん、子ども会育成者代表宮路義和さん、公民館長代表鬼塚俊男さん、学校長代表宮路茂男さん、一般代表岡山秀樹さんで司会者は前町教育長の寺崎豊志さんで、それぞれの立場で意見発表がなされた。続いて社会教育諸学級閉講式があり、婦人大学コーラス教育の発表のあと記念講演では、喜田治男ＭＢＣ報道課長が「ブラウン管から見た世相」と題して「現代は青少年の犯罪や自殺が増えてきた。これらは最後には親の責任である。対策として健全な家庭環境づくり、特に何でもうちあけられる親しい友達づくりが必要であるが、家庭だけでなく地域で考えよう。他人のことと考えないで進んで何でも行動しよう」と講演され、この大会は意義あるうちに終りました。

任期満了で最後のあいさつ

岩田一郎前助役

職員に見送られ役場を後にされる岩田前助役

任期満了となった岩田一郎前助役(六二)は、二月十日、町長以下職員等に最後のあいさつをされ、本庁に別れを告げました。

岩田前助役は、昭和三十四年四月に町議会議員に初当選以来、五十年二月の助役就任まで議員として十六年間、この間各委員長や議長を務め、五十年二月議長在任中助役に就任、本年二月十日の任期まで実に永い間、議員として、助役として町政発展のため一筋に尽してこられました。退任にあたり岩田氏は「三十四年議員当選以来二十年間の永い間、行政の面では町民の皆さんをはじめ、議会や各団体、町長さんを始め職員の御協力を得まして、無事に全うできましたことに心から感謝とお礼を申し上げます。私にとっては一生忘れることはないと存じます。いままでは無理難題を言ってまいりましたが、これも町発展のためと思い、又これからの戒めとしていくつもりであります。これからは、一町民として地域の発展に全力を尽していくつもりであります。どうか職員のみなさん、健康に十分注意され町政発展のため頑張ってください」…とあいさつされました。

永い間、本当にご苦労様でした。

簡易生命保険積立金

十一兆円を突破

一部簡保融資でできた柁城小学校の増築校舎

簡易保険は大正五年の創業以来皆様から「郵便局の簡易保険」として広く親しまれ利用されてきましたが、資金総額は、去る二月二日、十一兆円になりました。

この簡保資金は、加入者の皆様からお預かりした大切な信託財産として、地元郵便局を通じて地方公共団体が建設する学校・住宅・公園等に融資され、豊かな町づくり・住みよい社会づくりに役立っています。

当加治木町でも五十三年度中に公営住宅建設事業や柁城小学校増築に五、一八〇万円が融資され、総額で三億九、三三七万円になっております。

郵便局としましては、この十一兆円突破を契機に、さらに住みよい町づくりにお役に立ちたいと考えております。

町民みんなで
時間を
励行しましょう

明るい選挙は わたしたち一人一人の手で

県議選挙　４月８日
町議選挙　４月22日

選挙は、わたしたちの暮らしの願いを政治に反映させる最大のチャンスであり、わたしたちの一票は暮らしをよくするための貴重な〝意思表示〟です。

これからの政治を任せる人を選ぶにあたって、わたしたちは冷静に悔いのない一票を投じたいものです。そして、みんなの一票が正しく政治に生かされるためには、選挙は公正に行われなければなりません。

四月八日と二十二日の統一地方選を前に、公正で明るい選挙を実現するために、私たち有権者が心得ておきたい基本的なルールのいくつかを、紹介しましょう。

候補者などの寄付は全面禁止

きれいな選挙は〝三ない運動〟から

贈らない、求めない、受け取らない

現職の議員はもちろん、候補者や立候補の意思のある人が、選挙区内の人にする寄付は、親族に対する場合など特別なケースを除いて、いかなる名義であろうとも、いっさい禁止されています。

また、わたしたち有権者も、寄付を求めたり、受け取ったりしてはいけないので、十分注意しましょう。

この「寄付の禁止」は、選挙に関するものと否とを問わず、日常のあらゆる場合についてあてはまります。

ここでいう「寄付」とは、お金や品物を贈ることはもとより、財産上の利益を提供したり、約束する場合も含まれます。

具体的な例をあげると、次のようなものです。

◎お中元やお歳暮、出産・入学・卒業、開店などの祝いを贈ること

◎お葬式の際、香典や花輪などを出すこと

◎祭りや催し物にお金や酒などを提供すること

◎団体旅行などに寄付すること

候補者や政治家などの寄付については、選挙のときはもとより、常日ごろから

贈らない
求めない
受け取らない

の〝三ない運動〟で「きれいな選挙」を心がけましょう。

〈選挙法ひと〈ちメモ〉

政治家や候補者などが
お中元や寄付など金品を贈ることはルール違反です。

政治家や候補者などに
お祭りの寄付など金品を求めることも禁じられています。

政治家や候補者などから
祝儀やせん別など金品を受けとってはいけません。

―贈らない・求めない・受けとらない―

選挙の時にかぎらず、日ごろからみんなで「きれいな選挙」を心がけましょう。

肉用牛経営について、体験発表の西村さん

健全な畜産経営を目ざし 畜産振興大会

昭和五十三年度畜産振興大会が加治木町農協主催（町協賛）で二月十六日、町福祉センターで約二百人が参加して行われた。

大会では、岸野大会会長あいさつのあと、県郡畜産共進会出品者十五人に記念品が贈られた。つづいて町長、議長らの激励の言葉があり、体験発表では、肉用牛経営について西別府の西村照雄さんと養豚経営について小山田の石原悟さんが、畜産を始めたときから、今日の畜産情勢の変転する中での経営について、体験発表がなされた。このあと加治木農林事務所、永尾畜産課長から畜産情勢等について話があり、みんなで勉強しました。

最後には、各グループの婦人部による踊りなどが発表され、大会は盛会のうちに終りました。

もうすぐ一年生

入学前の親子の心得

胸はずませて、入学を心待ちにしている子供たち―お母さんとしては、期待と不安の入りまじったお気持でしょう。

ことに、初めて子供さんを学校に通わせるご家庭では、「勉強のできる素直なよい子」になってほしいというのが、率直な願いだと思います。

といって、文字や数字をむやみやたらに教え込むのも、考えものです。それがかえって、子供に妙な優越感や慢心を起こさせ、入学後に悪影響を及ぼさないとも限りません。

まず何よりも、子供を学校という集団生活になれさせることが先決です。そのためには、子供の心をリラックスさせ、健康状態に気を配り、みんなと仲よくやっていくために必要な、学校生活の規則やエチケットを身につけさせましょう。もう幼稚園時代の甘えや依頼心は許されません。用便、洗顔、食事のしかたはもちろん、「はい」「いいえ」「ありがとう」「すみません」などは、きちんと言えるようにしておきましょう。

また、登下校時の交通ルールについては、通学路を前もっていっしょに通ってみて、危険なところはよく教え、一人で往復できるようにさせておきたいものです。

お母さんは、学校を信頼し、子供さんには、学校は楽しいところなんだという気持を持たせるようにしてください。

今日から
小学一年生

県下陸上記録会で第一位

柁城小の斉藤君と吉田君

県一位の吉田君（右）
斉藤君（左）

「健康でたくましい心身」の育成を図る目的で開催される第十三回県下小学校陸上記録会は、昨年の十一月七日、行われましたが、この記録会の集計が、このほどまとまり、発表された。その結果、本町、柁城小学校の斉藤君と吉田君二人が、走高跳びの部で県下第一位の立派な成績をおさめました。

これは、次代を担う児童、生徒に対して、生涯にわたって一人一人が意欲的に健康、体力つくりを実践していく習慣や、態度を培い、さらに日常生活における体育的活動の推進を図る目的で県教育委員会と県小学校体育連盟が、毎年実施しているものです。

入賞者は次のとおりです。

走高跳の部

小学五年＝第一位、吉田博紀（柁城小）一㍍三〇

小学六年＝第一位、斉藤洋一（柁城小）一㍍四一

心配ごと相談

毎週木曜日午前中町福祉センターで相談をうけています。

話題

町の議員さんたち　町有林に記念植樹

町の議員さんと役場の管理職のかたがたが、二月二十五日、西別府の町有林に杉の苗、七〇〇本を植樹しました。

今年の四月で議員の任期が満了となるため、これを記念して計画されたもので、中には、杉植えは初めてという議員さんもおり、瀬戸口林務係長の指導のもと、三十アールに、および杉七〇〇本を一本一本丁寧に植えました。

この杉が大きく育ち、四十年後には町の財政の一部に役立つことを、参加者全員は願っております。

四十年後の伐採を目指して植樹

十三チームで熱戦　町サッカー大会

第八回本町サッカー大会は、二月十一日、町営運動場で十三チーム（小学校六、中学校二、一般五）約百五十人の選手が出場して熱戦が展開された。

この日は、二月とは思えないぽかぽか日和りで昼間は十八度と気温があがり、選手は汗だくで応援者の声援をうけ元気いっぱいに戦いました。

今回は試合に先だち、開会式のあと本町体育指導員の池ノ上健二さんが、基本練習の方法や視聴覚器機を使った指導（講習会）が行われた。

試合の結果は次のとおりです。

小学校＝①柁城Ａ②柁城Ｂ③竜門

中学校＝①加中サッカー②大山チーム

一般＝①高校同好会②加治木ガス③指導者（父兄）

県児童・生徒スポーツ活動　郡山（錦江小）城（永原小）が個人表彰

柁城サッカー少年団が優勝

第六回県スポーツ少年団・競技別交歓大会は、二月四日、鹿児島市の県立鴨池運動公園内施設を中心に行われた

これに先だち、五十三年度児童生徒スポーツ活動表彰が、剣道会場にあたる鹿児島中央警察署武道館で行われ、県下個人の部九人のうち本町錦江小六年の郡山聡君と永原小六年の城照行君二人が、県教育委員会から表彰を受けました。

郡山君は三年生から剣道スポーツ少年団に、城君は四年生からソフトボールスポーツ少年団にはいり、二人とも現在団長として先頭に立ち早朝練習や各競技大会に出場。団員の範となるとともに他の児童に励みを与え高く評価されているとして表彰された。

また交歓大会では、各地のスポーツ少年団代表の二百八十五団体約二千三百人が、サッカーなど七種目に参加。本町からは柁城サッカースポーツ少年団、加治木町剣道スポーツ少年団、警精館スポーツ少年団の三団体が出場し、かねての練習の成果を会場いっぱいに発揮しました。

剣道に出場した加治木町少年団と警精館少年団はおしくも苦敗しましたが、サッカーに出場した柁城少年団は予想どおり実力を発揮Ｂブロックですばらしい成績をおさめ優勝しました。

表彰を受けた郡山君（右）と城君

自治功労者として　表彰さる

自治功労者として本町職員の、脇田さん（五二）と有村さん（五八）が、このほど全国町村会長から表彰を受けましたが、この職員に対する伝達表彰が二月二十三日、町長室で行われました。

これは、多年町村職員として、地方自治の振興発展に尽された功績は、まことに大きいとして贈られたものです。

表彰者は次のとおりです。

脇田郁穂（二十五年）

有村宗吾（二十五年）

全国町村会長から表彰の脇田さん（左）と有村さん

″統計からみた鹿児島″を発刊

県の実態を知るうえで重要と思われる指標を選び、それが全国、または九州からみてどんな位置にあるかをグラフや図表を使ってわかりやすくまとめた、県勢ハンドブック″統計からみた鹿児島″が発刊されました。購入希望の方は次へ申し込んでください。

▽販売価格　八〇〇円

▽申し込み先　町役場企画課

町婦人会だより

町婦連

今年の冬は例年になく暖く、いつもの年のように春の訪れを待つのでなく、春の方が自分から、どんどんやってきたみたいです。

三月　卒業!!　旅立ち!!

四月　入学!!　そして進級!!

あっちでも、こっちでも、おめでとう、おめでとう。ポカポカ陽気も手伝って油断をする

と、春のかすみの中に自分を見失いそうです。

心をひきしめて五十三年度の反省をし、来年度へのはしわたしをしっかりやろうと心がけるこの頃です。

五十三年度の活動から

(1)婦人学級

日本赤十字社のご指導で、家族看護法と老人看護法を各々十二時間勉強しました。受講した事が、すぐに役立って病人の看病にはげんでいる会員の方もあります。

また錦江校区では、救急法の勉強をし、止血のしかた、人工呼吸のしかたなど学び、いざという時には役立てようとしています。

柁城校区では、料理教室、民踊社交ダンスなど人気を呼んだようです。

永原・中野校区では、農協婦人部や生活改善グループ等の活動と共に、身近な問題から学習しています。

(2)生活学校運動

加治木町でも頭を痛めている事の一つであるゴミ処理の事と、河川を美しくする事の二つに重点をおいて学習しました。

ゴミ処理学習では、実際に処理場を見学しました。そして私にちはゴミの取りあつかいにもっと心をくばるべきだと反省しました。またゴミを処理するのに莫大な町費を使っている事も知りました。

町を美しく、住みよくする
ちょっとした、あなたの心がけ

河川を美しくする学習では、錦江湾をよごしている犯人は、家庭排水が第一である事を知り、洗剤から石けんへきりかえる運動を展開しました。

みなさんのご家庭では、洗剤ですか？　石けんですか。

人体にも害のない、河川も汚さない石けんでの洗濯にきりかえられる事をおすすめします。

使いやすい粉石けんが、でまわっています。

(3)その他の研修

県民バスを使って一日研修に出かけたり、電気教室で上手な電気の使い方を学んだり、町内各団体と合同で〝暮らしを守る集い〟を開いて多くの方々に研修していただきました。

(4)主な奉仕活動

・おむつ一枚運動

みなさんの真心のこもったおむつ六〇〇枚を、望岳園と南九州病院重心のみなさんに使っていただきました。

・南九州病院へのボランティア

筋ジス病棟と重心病棟へ、毎週火・金の二日間出かけました。

今年も百名ほどの会員の方が参加してくださいました。ご苦労さまでした。

そのほかに他町村との交流をはかったりしながら歩いてきました。

ひろげよう!!みんなで
人の和、心の輪

五十三年度加治木町婦人会のモットーでした。来年度はもっともっと大きな輪になりますよう、ご協力ください。

ゴミ収集場所はいつも清潔にしましょう

竜門の会

白鷺の番翔たして水温む　鶴田　耕

満ち潮や水押し返へす春の川　加藤　白柳

春潮の渦生れやすし真球棚　徳留　末雄

山茶花のこぼるる処猫の恋　曽木　柳田

仕上がりし稿の厚さよ笹子鳴く　田代　俊泉

北風の途絶え切干ふと匂ふ　三浦　ゆう

菜の花や二拍子で行く馬踊り　井之上透山

満開の梅に来て鳴く眼白かな　宮脇　思川

万雨のたわわなる門花嫁来　松永　愛子

うすみどり霧雨の中蕗のとう　林　睦山

暗き灯になれし茶房やシクラメン　横山　江南

文化財めぐり 32

黒川岬

日木山・黒川

景勝の地黒川岬は、その昔有名な鳳山和尚がここに庵をつくり、鳳山軒と称し晩年を過したところである。

第十八代太守家久が、ある時、鳳山軒に遊び「浪のおりかかる錦は、磯山の梢にさらす花の色かな」と詠んでいるが、この歌が錦江湾の名の起りである、と伝えられている。

また、天文十八年五月二十九日（一五四九）加治木城主肝付兼演が島津氏に叛いたので、太守島津貴久は、伊集院忠朗を派遣して、これを討伐せしめた。そのとき忠朗が陣をしいたのがこの黒川で、いまでも岬の山上を陣ケ平といっている。この陣ケ平と兼演が墨である向陣との間に川をはさんで激戦が続けられたが勝負はきまらず、そこで忠朗の陣地から盛んに火矢を放って兼演の陣営を焼いてしまったので、同年十一月、兼演は降参したといわれている。

アコダマコのおじいさん

岡部久彦

小雨の中全員がばっ渉

町オリエンテーリング大会

スタートは足どり軽く

大自然のオゾンがいっぱいの山野を歩き走り回り、久しい人間関係づくりと健康・体力づくりをする本町の第八回オリエンテーリング大会が、二月二十五日、日本山上場を中心に行われた。

この日は、小雨日和りの寒い日であったが、参加した小学生から一般まで、途中は上衣を脱ぎポストを見つけるたびに「アッタ、アッタ」と歓声をあげ全員が完走しました。

この競技は、地図と磁石を使って未知の山野を地図上に示されたいくつかの地点（ポスト）を、できるだけ短い時間に探し当てゴールするスポーツであります。

当日の成績は次のとおりです。

小学生男子＝①大井隆志組②赤崎秀成組③川原勇次組

小学生女子＝①頼岡理恵子組②加藤利枝子組

親子＝①弓場哲郎組②原口謹郎組③杉本正義組

一般男子＝①頼岡利明組

一般女子＝①猪目智子組

家庭の医療

行楽に

簡単な応急医薬品を

四月から五月にかけては、行楽のシーズン。ご家族そろってハイキングや旅行の計画を立てておられる方もおいでしょう。

ところで、お出かけの際、ぜひ準備されることをお勧めしたいのが、簡単な応急医薬品。

子供さんなどが、虫に刺されたり、転んでひざをすりむいたりしても、あわてることなく応急処置ができます。

持っていくと重宝する主な医薬品と、ケガなどの手当て法は次の通りです。

〈応急医薬品〉

消毒薬、救急バンソウコウ、脱脂綿、ガーゼ、包帯、鎮痛薬、下痢止め、チューブ入り軟こう、目薬、それに小型ナイフ、ティッシュペーパー、など。

◎靴ずれ　マメができた時

水ぶくれになった部分の周囲をよく消毒してください。そのあと、消毒した針などでマメの下の方に穴をあけて、液を出します。そして、もう一度消毒してから、バンソウコウをはってください。

◎すりむいた時

まず、きれいな水で皮膚についた泥や砂を洗い落としてください。そのあと、脱脂綿などに消毒液をたっぷりしみこませて、よくふきます。

血のにじみ方が少ない時は、ガーゼなどでおおう必要もなく、そのままにしておく方がよいでしょう。

血がはげしくにじみ出る場合は、傷用の軟こうをガーゼに薄くぬって、バンソウコウで止めてください。

◎足首などをくじいた時

すぐに冷たいタオルなどで冷やしてください。できるだけ足を使わないようにして、早く医師の手当てを受けてください。

おしらせ

通信教育生徒募集

鹿児島西高等学校

勤労青少年や一般の方を対象に通信教育で高等学校の卒業資格が取得できる制度がありますが、鹿児島西高等学校では、この通信制課程の生徒を次のとおり募集しています。

入学資格
中学校を卒業した者、高校卒業者でもっと教養を高めたい者、又は、一部の科目を学習したい者

願書受付
3月22日から4月20日まで

県立鹿児島西高等学校通信制入学係
鹿児島市下伊敷町四四―四（〒八九〇）（電〇九九二―二九―三七四四）

科目
普通科、衛生看護科、農業経営科

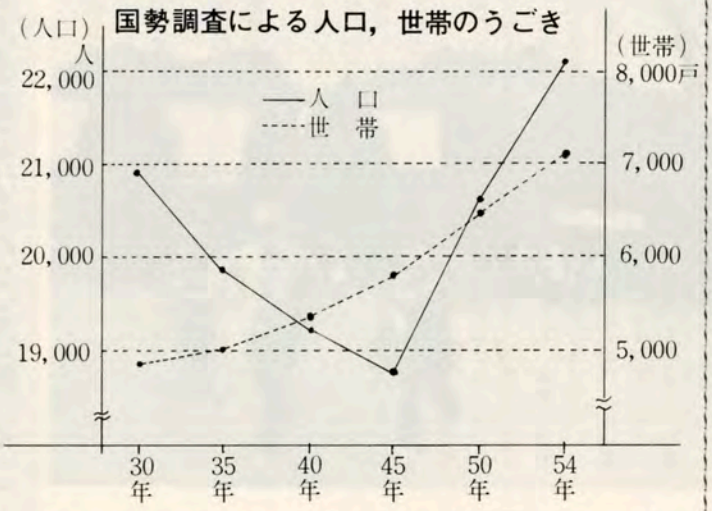
入学費と学科費など
普通科（九、八〇〇円）衛生看護科（七、四〇〇円）農業経営科（六、二〇〇円）

詳しくは当校へ問い合わせください。

増えつづける本町の人口

2月で22,000人台へ

国勢調査による人口，世帯のうごき



年平均二・三％約四八〇人増加

本町の人口は、二月一日現在で二万二千四十七人となり、五十年の国勢調査と比べると一千四百三十八人増加しました。

過去の最高は二〇、八一九人

本町の人口が最も多かったのは昭和三十年の二万八百十九人で、その後減少に転じ、昭和四十五年には一万八千七百十六人にまで減少しました。その後、鹿児島新空港の隣接町への開港九州自動車道等の建設に伴い人口も増加をつづけています。

一世帯当りの人員は三・一人

世帯数は七千百二十二世帯で一世帯当たりの平均人員は三・一人で、昭和三十年に比較すると一・三人も減少しています。

うぶ声

一月二十一日から二月二十日受付分

出生者　保護者　部落
穂森健太郎　昭博　江湖
池ノ上卓郎　昂一　天神
岩崎裕之　利治　於里
隈原直樹　澄雄　高井田
前畑光穂　悟　豊町
坂元大輔　清美　於里
向江由美　行男　須崎
前田みゆき　憲二　吉原
木原鉄也　創八郎　西江口団地
半崎真美　謙次　東吉原団地
塗木淳平　吉輝　西塩入下
坂元綾寛　正廣　西反土後
前田智美　悟　徳永
山元辰男　辰郎　弥勒
平野文崇　照昭　西江口団地
大塚聖子　兼介　西諏訪
石堂誠喜　誠一郎　春日団地
久永祥子　繁夫　蔵王団地
永田郁生　春海　蔵王団地
濱川奈々　護　西塩入下
本山智子　正人　浜村
日置久美子　光廣　萩原
緒方明美　昇　春日団地
福永明美　哲郎　竹下
菅谷真紀　政樹　萩原
本多洋一　竹則　弥勒
西島克登　廣　豊町
東元憲太郎　勝秋　西塩入上
内囿純子　廣海　南塩入

香典返しを寄付

香典返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに故人のごめい福をお祈りいたします。（）内は故人

＝町社会福祉協議会へ＝

十万円　西反土前福元　友蔵（美智子38）
二万円　須崎　郡山カツエ（忠夫51）
三万円　新中　上水流きみ（喜之助69）
一万円　毛上　大村　ナホ（清人59）
一万円　空港団地平井　渉（久子51）
五万円　吉原　松吉　昭次（シヲ82）
二万円　南塩入　立元　初雄（スエ84）
二万円　高井田　荻迫トキエ（武男68）
二万円　曲田　押川　登（親志73）
三万円　上木田　川俣　メイ（重義72）

＝町育英奨学資金へ＝

五万円　西反土前福元　友蔵（美智子38）
五万円　今町　床村　栄二（松元ケイ72）

＝町国民年金協議会へ＝

一万円　毛上　大村　ナホ（清人59）

篤志寄付

五万円　故松元　ケイ

▽…二月二十日までのご寄付を掲載いたしました。